

## 令和3年度 八代乳児院 事業報告

### 1. 事業展開の総括

養育理念と指導方針は不変であり、これを踏まえて入所児の人権を擁護し、個人の尊厳に配慮する。

令和3年度においては、暫定定員もなく定員15名分の措置費で運営することができたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響は大きく、事業や運営に少なからず影響があった。令和4年1月13日に乳児院内に感染者が発生し、2月3日の終息まで職員15名子ども5名の感染が発生したが、関係機関の協力により乳児院外への感染を防止することが出来た。

年度初め頃はマスクや消毒液・感染防止用品等が手に入りにくかったが、割高の物の購入や国及び県主導の優先購入などである程度備蓄することが出来たが、感染が発生した後終息するまで当初の備蓄分の3倍以上を消費した。

事業については、ほとんどの会議・研修会等がオンラインでの開催となり、今までの参集での開催とは異なり一方通行的な会議や研修になっている。行事については感染防止の為外部からの来乳をお断りし、院内で完結するものへと変更したものを行った。

職員については、感染防止のための物品購入費として一人3万円を上限に支給した。また、慰労金として5万円から20万円を支給した。

まだまだ新型コロナウイルスの感染は拡大しているため予断は許さない状況であるため今後も感染防止に努めなければならない。

入所児については例年と変わらず、まったく何の心配もないというケースはほとんど無く、被虐待児や虐待の疑いのある子ども、脳性麻痺や知的障害の疑いのある子ども、虚弱な子ども等の入所が多い。

### 2. 購入物品等

○マスク、手袋、フェイスシールド、消毒液、感染防止用ガウン、キャップ、  
手指消毒機、抗原検査キット等  
(職員・入所児の感染防止のため)

○避難車  
(火災等の非常時に子どもを乗せ避難させる乗り物)

○エアコン  
(洗濯室に新たに設置)

### 3. 重点課題

扱いの難しい子どもの入所が多く、職員一人ひとりのスキルアップが必要であるが  
コロナウイルス感染症拡大のため、専門的な研修会や講習会等が少なくなっている。  
また、リモートでの研修のため身につけにくい。

### 3. 職員配置、勤務体制

職員配置は定数を充たしているが、今後の入所児の変化や家庭的な対応の拡充のため  
募集を継続する。

### 4. 会議等

乳児院内部会議（コロナウイルス感染症拡大状況により開催及び中止を判断する）

①入所児処遇ケース会議	随 時
②職員全体会議	月 1 回
③心理判定会議	随 時
④児童相談所打合せ	随 時
⑤給食担当国会議	月 2 回

#### 職員研修

① 全国研修	2 回	（オンライン）
② 九州職員研修	1 回	（オンライン）
③ 福岡県乳児員研修	中止	
④ 熊本県乳児部会	中止	
⑤ FSW 研修会	1 回	（オンライン）
⑥ 保育看護セミナー	1 回	（オンライン）
⑦院内研修	中止	

※研修内容等により各々 2～3 名参加する。

#### 健康面

職員乳幼児共に例年と同じ

### 5. その他

現在世界中で新型コロナウイルスによる感染が蔓延しているため、子ども・職員  
共々細心の注意を払っているが、感染者が出た場合は非常勤務体制を取らなければ  
ならない。